

みんなの見守りで 高齢者虐待を防ごう



健康福祉課地域包括支援センター ☎(25)1182

高齢者虐待とは、高齢者(65歳以上のかた)を世話する家族などによって行われる虐待と介護施設従事者などによって行われる虐待をいい、5つの種類があります。(図1)

介護のつもりが虐待の場合もあります

介護をしているつもりが、不適切な対応となっている場合があります。自分の対応が不適切になっていないか、チェック表をもとに考えてみてください。(図2)

あてはまる場合には、適切な対応になっていない可能性があります。今後の介護の仕方について地域包括支援センターに相談してください。

虐待者≠悪者!!

虐待と耳にすると、虐待する人が悪いと思われるがちですが、介護は毎日のことで介護者には大きなストレスとなります。また、適切な介護の仕方や認知症への対応が分からないことで、つい手を上げてしまうこともあります。

虐待をしている人が悪いと決め付けず、介護方法が分からない、支援が必要だと理解してください。

通報したらどうなるの??

通報したかたの情報は外部に漏らさないようになってい

ます。虐待かもしれないと思った場合は、迷わずに地域包括支援センターに連絡してください。高齢者やその家族を早期に支援するためにも、疑いがある場合はためらわずに通報してください。

虐待を防ぐために見守ろう!!

虐待を防ぐためには地域での見守りが重要です。

①まずはあいさつ

日常生活での声かけが地域からの孤立を防ぎます。「おはよう」「こんにちは」のあいさつを普段から行い、交流をもちましょつ。

②「どうしましたか」の声かけ

高齢者や介護している人がいつもより元気がない場合は声をかけることで高齢者や家族の気持ちを楽にさせることになりまふ。あいさつをし、普段から相談しやすい関係を築いていくことが大切です。

③虐待かな?を見逃さない

虐待につながる小さなサインは外からでも確認できます。少し変わった様子を「大したことないだろう」と自己判断せず、少しでもおかしいと感じたら地域包括支援センターに連絡してください。

図1



図2

- 良いことと、悪いことを分かってもらうために、たたくなどしてしつける
- 忙しくて、入浴や身体を拭くなどの世話はめったにできない
- おもらししないよう、水分は控えめにしている
- 仕事などが大変で、空腹状態を長時間がまんしてもらうことがある
- 経済的な理由もあり、通院・介護サービスの利用などは控えている
- 子ども扱いするなど侮辱してしまうことがある
- 日常生活に必要なお金を渡していない
- 年金手帳、預金通帳などを管理し、本人に無断で使うことがある
- 認知症のため徘徊するので、部屋に閉じこめている
- 排泄の失敗を嘲笑したり、人前で話すことがある